



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 182

令和4年(2022)
11月10日

主
な
内
容

9月定例会のあらまし	2
常任委員会の審査報告	2
各会派討論の内容	6
議案の採決結果	8
代表質問	10
一般質問	12
12月定例会の予定	19
議会防災訓練	20
編集後記	20

- 令和3年度一般会計決算を認定
- 令和4年度一般会計補正予算を可決

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



色鮮やかな 秋



9月定例会のあらまし

- 主要財政指標等の改善が見られた「令和3年度一般会計決算」を認定
- 急激な原油価格・物価高騰等に直面する市民や事業者への影響を緩和するための支援や、再拡大する新型コロナウイルス感染症への対応を行うとともに、子どもの豊かな育みを支える取組など、総額16億2526万円の令和4年度一般会計補正予算(第4号)を可決
- コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響が特に大きい住民税非課税世帯等へ1世帯当たり5万円をプッシュ型で支給する臨時特別給付金給付事業や、生活困窮世帯への支援の延長を行う新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業など、総額6億6407万円の令和4年度一般会計補正予算(第5号)を可決
- 国家公務員における取扱いに準じ、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するとともに、育児休業の取得の柔軟化を行う等所要の改正を提案する「舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定」を可決

令和4年9月定例会は令和4年9月2日から10月6日まで35日間開催し、市長から提出された令和3年度決算、令和4年度補正予算、条例の一部改正などの18議案を審議し、原案のとおり認定・可決・同意されました。また、議会提案の「令和4年請第1号に関する審査特別委員会の設置」「舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例制定」の2件を可決するとともに、特別委員会を設置し、審議した請願1件を不採択としました。

予算決算委員会の主な審査内容

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

財政調整積立金

Q 今回の補正予算を踏まえた令和4年度末の残高見込みは

A 令和3年度決算による残高の確定額から令和4年度の当初予算における繰入額及び補正予算による繰入額を差し引いた残高見込みは、37億8417万円。

緊急時避難円滑化事業費

Q 今回の路線以外の整備予定路線は、どの程度あるのか

A 避難路については、今回の補助金に限らず、さまざまな方法で整備している。当補助金は、京都府内での上限もあり、今後も活用していきたいと考えているものの、現時点で次の路線が決まっているわけではない。

スマート市役所推進事業費

Q 導入予定の「Webゲートウェイ機器」とは、どのような役割を果たすものか

A 現在の市役所の事務におけるネットワーク環境は、間接的にインターネットへ接続する仕組みとなっているが、レスポンス等の面で効率が悪いため、今後のインターネットサービスの提供拡大も見据え、安全性を確保しつつ効率化等を目的とした新たな仕組みを導入するもの。

電力単価等の上昇に伴う電気使用量の増額

Q 今回は、予期せぬ事態によって、電気使用量の増額を行う補正予算となったが、今後の公共施設等における電力調達の方針は

A 当面は、電力の安定確保を最優先とし、今後の電力の料金体系等の動向を踏まえながら、入札等による調達経費の縮減を検討していきたい。



原油価格・物価高騰 緊急対策事業給付金

Q 給付対象事業者のうち、法人および個人への支給件数の見込みは

A 建設業、製造業、運輸業では、個人で170件、法人で480件を、これら以外では法人で1560件、個人で1080件程度を見込んでいる。

オンライン子育て相談支援事業費

Q 子育て支援サービス「まいココ」における

A 現時点での登録件数は7月から運用を開始した「まいココ」の登録件数については、9月21日現在、880件である。

本会議において付託された議案は、産業建設委員会1件、総務消防委員会2件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

指定避難所等新型コロナウイルスナウシルス感染症防止対策経費

Q 今回整備する簡易ベッド及びパーティションは、各避難所に配備するのにか

A 今回整備するのは、自宅療養者の避難所への避難に対応するもので、市の保管場所で保管し、状況に応じて配備する予定としている。

中総合会館整備事業費

Q 整備後の駐車台数は既存の120台に加えて、60台前後の増設を見込んでおり、全体で180台前後の駐車が可能となる予定である。

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費

Q 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の実績は

A 昨年7月より実施しており、令和3年度

は96人に初回支給、49人に再支給。令和4年度9月末までに40人に初回支給、39人に再支給。

Q 対象要件の把握方法は

A 金銭的な要件は、申請時に預金通帳や給与明細等の提示で確認。求職活動等要件は、ハローワークの登録証で確認している。

臨時特別給付金給付事業費

Q 1世帯当たり5万円をブッシュ型で支給する事業だが、金額の算出の根拠は

A 国が設定した金額で、低所得世帯の電力・ガス・食料品等価格高騰による影響額を月5000円程度と見込み、6カ月程度を十分に上回る金額を支給するとして設定されている。

Q 家計急変世帯の場合、申請してから何日程度で振り込まれるのか

A 申請を受けてから2、3週間程度で審査を行い、支給する。



令和4年度舞鶴市病院事業会計補正予算(第1号)

Q 検査業務委託費の中でPCRに関わる部分は

A 外注に出している検査費用。PCR検査機器を導入したが、試薬等の削減で全数をこなすことができないため、院内感染を早急に食い止めるため、外注と2本立てで対応できるようにしている。

令和3年度一般会計決算の認定

主要財政指標等

Q 経常収支比率が改善した要因をどのように分析しているのか

A コロナ禍における固定資産税等の徴収猶予分が納入されたことや、地方交付税の追加配分により、算定上の分母となる経常的一般財源の額が大幅に増加したことが要因となっている。

職員給与費

Q 一般会計の職員給与費のうち時間外勤務手当について、対象となる職員数と平均の時間外勤務時間は

A 対象職員数は、消防と病院を除いて480人で、時間外勤務の月平均は、1人当たり11・72時間。

広報活動経費

Q FM活用情報発信事業の効果やターゲットを確認するために、FM放送の聴取率は把握しているか

A どのくらいの方に聴いていただいているかという聴取率は把握できていない。

まなびあむ利用状況

Q 施設全体の利用状況と貸館利用の状況について

A 令和3年度、施設全体では、1167件、延べ1万944人が利用されており、そのうち、貸館については、745件、6262名の方にご利用いただいた。

引揚の史実継承事業費

Q 教育旅行に来ていただいた学校へのアプローチは行っているか

A アンケート調査を行っており、概ね好評である。講話だけでなく物に触れて体験していただくなど、職員全員によるおもてなしで、満足度やリピート率を高めたい。併せて、旅行会社への営業活動も行っている。

新型コロナウイルス感染症対策男女共同参画センターICT環境整備事業費(繰越明許費)

Q 施設内のWiFi環境整備状況は

A 本事業では、5階の男女共同参画センターフロアに、WiFi i設置を行った。なお、1階視聴覚室及び4階ホールにもすでにWiFi iは整備されている。

舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金

Q 公共交通の利用促進事業に対する補助により作成したマップや時刻表の部数と配布先は

A 「市内バス路線マップ&時刻表」は5千部、「JRポケット時刻表」は8千部作成し、公共施設や駅に配架。

民生児童委員活動費等の状況

Q 民生児童委員の定数は288人だが充足率は

A 9月1日時点で11人が欠員。欠員のある地域では自治会長や地域の役員の方をお願いに回り、充足に努めている。

常任委員会の審査報告

本会議において付託された議案は、産業建設委員会1件、総務消防委員会2件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

災害時要援護者支援 対策事業費

Q 災害時要援護者の避難支援計画の進行状況は

A 対象者は市内で約5480人。うち避難計画ができていないのは約3980人。特に支援が必要な方を、身体状況や住まいの状況を基に洗い出している。まだ計画ができていない方や支援者が少ない方については、支援者を増やしていけるよう働き掛けていきたい。

SDGsシエンダー 平等支援事業費

Q 女性のための相談室に専門職やカウンセラー等の配置は

A 現在研修を重ねた女性相談員が初動の相談を受け付けている。特に専門性が必要な相談には、各専門機関へ同行し、本人に寄り添いながら支援に努めている。特にカウンセラー等の配置予定はない。

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

議会PR

定例会の予定

編集後記



福祉医療費 公費負担制度の状況

Q 精神障害者は重度心身障害児(者)医療助成の対象にはならないのか。対象拡大の検討は

A 本市は京都府の制度に則っているため対象としていない。今後京都府で検討予定と伺っているため、動向を見守りたい。

公立保育所の入園状況

Q 公立保育所の運営について、人件費と保育士の人数は

A うみべのもり保育所の保育士は、正職員18人、会計年度任用職員

員30人の合計48人であり、人件費総額は1億3838万5657円。中保育所の保育士は、正職員17人、会計年度任用職員22人の合計39人であり、人件費総額は1億7059万7374円である。

公立認定こども園の入園状況

Q 舞鶴こども園の運営について、人件費と保育士の人数は

A 正職員10人、会計年度任用職員15人の合計25人であり、人件費総額は1億29万8358円である。

「地域医療の充実」 共同研究事業費

Q 「府北部地域における周産期医療の充実に向けて」を研究テーマとしているが、研究成果は

A この事業は、京都府北部地域全体の周産期医療の充実を図るため、令和元年度から5年計画で進めている本市と京都府立医科大学との共同研究事業。

周産期サブセンターである舞鶴医療センターの産婦人科医師が、常時2人体制になり、令和元年度99件であった分娩件数は、令和2年度は117件、令和3年度は145件と増加している。市内施設間の人的交流も含め、北部医療機関の相互連携を図りながら、症例に適した対応ができるよう、残りの2年間でさらに研究を進めていきたいと考えている。

舞鶴地域医療推進 協議会事業費補助金

Q 公的病院間循環バス運賃助成の改善等の考えは

A 車で移動する方も多いため、バスに限らず助成できるものがあるのかも含めて検討する。

地元就職・転職支援 事業費

Q 「京都府北部7市町村合同就職説明会」および「企業採用担当者」のための採用力アッ

「ブセミナー」の開催状況は

A 合同就職説明会は、昨年9月に開催予定だったが、コロナによる緊急事態宣言発令のため中止した。採用力アップセミナーは、ハローワーク舞鶴や民間企業から講師を招き、自社の魅力を伝える採用活動等に関するセミナーを7月と10月に開催した。7月には市内の企業から14社、10月には25社の参加があった。

スマート農業支援事業費

Q 令和2年度に万願寺甘とうの生産者に、令和3年度にお茶の生産者に、それぞれモニタリングを行っているが、どう活かされたのか

A 万願寺甘とうは、ハウス栽培でセンサーによる温度、湿度、日照等の計測を行い、データをクラウドに蓄積して見られるようにするとともに、その経年変化を見ながら、京

都府農業改良普及センターで分析している。お茶については、茶園で温度、湿度、風速、風向を計測するとともに、病害虫の未然防止に活用することを目標としている。

「まいづる地域商品券」 発行事業費(繰越明許費)

Q 消費拡大としての事業効果は

A 最終的に1万7892冊を販売し、換金率は99・36%で、経済効果は2億3千万円程度であった。

橋りょう長寿命化事業費

Q 市内一円の橋りょう150橋の法定点検の方法は。また、市管理の橋りょうを点検した結果、長寿命化工事などを行う橋の数は

A 150橋のうち約40橋は、職員が直営で点検し、残りの長い橋などの点検は、業者に委託した。平成26年度から30年度にかけて、市が管理する802橋の全てを点検した結

本会議において付託された議案は、産業建設委員会1件、総務消防委員会2件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

果、早期に補修が必要
な橋が81橋だった。こ
れらのうち、昨年度は
浪速橋、新川橋、溝尻
橋などの修繕を行った。

常備消防費

Q 高規格救急車の稼働実績及びアイソレータの使用実績は

A 高規格救急車は、3590件の出動があり、アイソレータは6回使用した。

未来を拓く学びの環境整備事業費（繰越明許費）

Q 小学校でのタブレットの活用状況について

A 昨年度からGIGAスクール構想によって整備された学校LANとタブレット一人一台端末については、調べ学習や記録、発表等、様々な学習活動に、文房具の一つとして活用できるようになっており、今年実施した全国学力学習状況調査の中で、「ほぼ活用で

きている」と回答した児童は70・9%であった。これは、全国的に見ても高い値となっていることから、現段階ではスムーズに活用できていると考える。

中学校部活動指導員配置事業費

Q 令和3年度における6中学校の指導員配置の実績は

A 部活動の種類と各校への配置については、青葉(合唱部)、白糸(卓球部)、城南(ソフトボール部)、城北(柔道部)、若浦(陸上部)、加佐(野球部)であり、6中学校に、各1人ずつ計6人を派遣した。

令和3年度下水道事業会計の決算及び利益の処分

Q 資本的支出のうち、建設改良費の繰越額が約13・5億円で、令和3年度当初予算額(約22億円)と比べて多額になっている理由は

A 浄化センターの工事、施設を稼働しな

がら行っているため、スムーズに進まなかったことや、浸水対策工事で支障物件が出たことなどにより、繰り越したことである。

令和3年度病院事業会計の決算

Q 院内感染防止のための強化策はどのような点に留意したのか

A 院内感染予防対策会議を中心に、発生した場合の動きや防護服の脱着シミュレーション、また、実際に院内感染が発生した経験を生きた教訓とし、協議を重ね、今後の対策につなげている。



令和3年度国民健康保険事業会計の決算

新型コロナウイルス感染症に係る保険料減免措置の状況

新型コロナウイルス

ス感染症に係る保険料減免世帯数が34世帯と少ないと思うが市の評価は

A 令和元年度から実施しており、元年度は77世帯、2年度は90世

常任委員会の主な審査内容

産業建設委員会の主な審査内容

駐車場条例の一部改正

駐車場の経営効率化を図るため、七条海岸駐車場を移転するとともに、定期券を発行することができるよう、所要の改正を行うもの。

Q 以前は、商工観光センターを利用してスタンプを押せば無料だったが、今回は、どういう形態になるのか

A 以前は、センター専用の駐車場だったため、利用者は一律無料だったが、今回は、他の市営駐車場と同じく、センターを利用される

場合は、公共施設の利用として、最初の1時間は無料とする。

Q 定期券を発行すれば、一般の駐車券の利用による駐車枠が減るが、どう対応するのか

A 今年の4月に駐車料金を改訂し、1日最大500円とした。これによる9月までの利用状況を分析の上、各駐車場の定期券対象台数を決めたい。

総務消防委員会の主な審査内容

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

国家公務員における取扱いに準じ、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するなどの改正を行うもの。

帯。要件は前年収入に對して3割以上収入が減少している世帯であるため、年々要件が厳しくなり34世帯にとどまったものと考えている。

Q 現状の育児休業の取得率は

A 令和3年度は、正職員が、女性100%、男性21・1%、非常勤職員が、女性100%、男性該当なしであった。

手数料条例の一部改正

住民票等の証明書のコンビニ交付サービスの利用を促進し、非接触型の手続きによる感染症拡大の防止や窓口の混雑緩和を図るとともに、マイナンバーカードの更なる普及を図る観点から、令和5年度末までに限り、マイナンバーカードを利用してコンビニ等の多機能端末機において証明書等の交付を行う場合の手数料を減額するもの。

討 論

令和4年9月2日の本会議初日および10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。



あらまし

委員会審査

討 論

採決結果

代表質問

一般質問

議会PR

定例会の予定

編集後記

討論
当初の目的が実現されず
認定できない

市民クラブ舞鶴議員団

15議案に賛成し、2議案に反対する。

第45号議案は、FM放送が難聴エリアだった大浦地区と加佐地区を、無線回線で放送が聴けるよう整備したが、当初の工事が完成しても加佐地区では放送が聴けなかった。そのため、追加で一般財源約2千万円を支出し、応急的に有線を加佐地区に

つなぎ、本来の目的である無線で放送が聴けるよう、再工事を実施する



今も無線放送が不安定な加佐地区

ものであった。この再工事が完了した現在でも、無線は不安定な状態で、本事業の当初の目的は達成しておらず、認定できない。

第47号議案は、令和3年5月に契約締結した静浜ポンプ整備建設工事で、契約から約1年4カ月が経過した今年4月が経過した今年もなお工事に着手すらできていない。遅れている原因は、設計が現場に即したものとなっているか、この当たり前のプロセスの欠落が工事の遅れに直結し、その遅れが受注業者の大きな負担となつている。真に実現できる計画に改めていただくよう申し述べる。

討論
市民生活に寄り添った
支援を評価

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和3年度一般会計決算は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症へのワクチン接種事業や、公共施設等への感染症拡大防止対策、生活や経済活動に大きな影響を受けた市民や事業所への支援に加え、「ビヨンド・コロナ社会」の実現に向けた事業など、

数々の事業に継続して取り組まれた。さらに、まちづくりとして、地方分散型社会を構築する「ITを活用した心豊かな田舎



守りたい環境と笑顔

暮らし」ができればまちを目指し、移住・定住の促進、関係人口の創出、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりなどの取り組みを進めていただいた。今後、市民ニーズや行政課題を的確に捉え、実現のために重点的、集中的に取り組んでいただくことをお願いし、認定する。

令和4年度一般会計補正予算第4号は、電力単価上昇および原油価格高騰に直面している事業者等の負担軽減のため、必要不可欠な補正であり、賛成する。

討論
平和な舞鶴の港
まちづくり推進を

日本共産党議員団

13議案に賛成し、4議案に反対する。

歴史資産を活かしたまちづくり推進費では、舞鶴鎮守府開庁120周年の各種記念事業が行われた。市長は「国を守り、国を支える」という重要な役割を、今後50年先、100年先も担い続けるまち」と議案説明で強調された。旧軍港市の本市は72年前、住民投票で「平和産業港湾都市」を市是とし、まちづくりを進めてきた。なにより平和を望む市民の願いに背を向けるま

ちづくりの方向転換は、あつてはならない。



暮らしへの支援充実を

赤れんが周辺等まちづくり事業では、用地の買収費を含まずに10年間30億円の事業で、赤れんが6号棟から8号棟の耐震工事も控えている。地域経済の先行きが不透明な時、少なくとも凍結すべきである。

可燃ごみ処理手数料の値上げや可燃・埋め立てごみの持ち込み手数料の新設で、約9491万円の市民負担増となる。コロナ禍で負担軽減を図るのが本来の行政の姿勢である。

令和4年9月2日の本会議初日および10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論 政治家からの寄附禁止

討論

物価高騰を受ける 事業者支援を評価

公明党議員団

全議案に賛成する。
第41号議案令和4年度一般会計補正予算第4号は、16億2526万円の補正であり、ロシアによるウクライナ侵攻など、世界情勢の影響等による原油価格の高騰や電力単価の上昇により、電力調達先の事業者が令和4年4月末で電力供給を停止した。そのため、別の事業者から電力を受けるため、単価や燃料調整費が上昇し、大幅な予算不足が見込まれる。原油価格や電気・ガス料金を含む急激な物価高騰に直面して

いる事業者等の負担軽減を図るため、市独自の給付金を支給するものであり、賛成する。
第45号議案令和3年度一般会計決算の認定は、令和元年度から感染が始まった新型コロナウイルス感染症が長期にわたり拡大する中、緊急事態に対応して、ワクチン接種事業や公共施設等の感染症拡大防止対策が進められた。普段の生活や経済活動に大きな影響を受け、厳しい状況にある市民や事業所への支援などを評価し、賛成する。



コロナワクチン接種

討論

防災、減災に向けた 事業を評価

創政クラブ議員団

全議案に賛成する。
令和3年度一般会計決算は、各事業に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原資として、明日への希望ある市民生活、経済活動への支援、また、由良川をはじめ河川の治水対策、道路や橋りょうの長寿命化事業等、防災や減災にも取り組まれている。地方分散型社会を構築する「ITを活用した心豊かな田舎暮らし」「子育て環境日本一」を通じた、本市が目指す持続可能なまちづくりの取り組みを評価する。

令和4年度一般会計補正予算第4号では、電子図書館整備事業費は、新しい生活様式を踏まえたビヨンド・コロナ社会において、図書館に行きたくても行けない人へ情報や資料が提供できる電子図書館の仕組みの導入により、学校と連携し、タブレットを活用した学習支援、読書支援にもつなげ、さらには視覚障害者サービスの向上等、図書に親しむ、図書館利用の拡大に向けた施策として評価する。



整備が進む高野川

政治家からの寄附禁止

**政治家の寄附は禁止！
有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！**

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄附になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

※政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、葬式や通夜における香典については、罰則の対象から除かれています（通常一般の社交の程度を超えている場合は処罰されます。）。

例



総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されており、このコードからご覧いただけます。



令和4年9月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 駐車場条例の一部を改正する条例制定について
- 手数料条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で同意した人事議案

- 公平委員会委員の選任について

全会一致で可決した議会提出議案

- 令和4年請第1号に関する審査特別委員会の設置について
- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	仲井玲子	議決をした日
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10月6日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

公平委員会委員の選任

公平委員会委員の任期満了に伴い、令和4年10月6日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

再任：櫻木博氏 再任：下川篤氏

議案の採決結果

(令和4年9月定例会) 会期:9月2日~10月6日

全会一致で可決、認定した予算・決算議案

- 令和4年度一般会計補正予算(第4号)
- 令和4年度一般会計補正予算(第5号)
- 令和4年度病院事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和3年度水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和3年度病院事業会計の決算の認定について
- 令和3年度貯木事業会計の決算の認定について
- 令和3年度駐車場事業会計の決算の認定について



賛否が分かれた議案

議員名等(会派内は五十音順)		出 席 者 数	投 票 者 総 数	賛 成	反 対	棄 権	議 決 結 果	今 西 克 己	上 野 修 身	鯛 慶 一
								新 政	新 政	新 政
議 案 名										
市 長 提 出 議 案	令和3年度一般会計の決算の認定について	26	25	18	7	0	認	○	○	○
	令和3年度下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について	26	25	22	3	0	可認	○	○	○
	令和3年度国民健康保険事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	令和3年度介護保険事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	令和3年度後期高齢者医療事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
請 願	長引く新型コロナ禍と物価高騰から市民生活を守るための緊急請願	26	25	7	18	0	不	×	×	×

【会派】新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、



あ
ら
ま
し

委
員
会
審
査

討
論

採
決
結
果

代
表
質
問

一
般
質
問

議
会
P
R

定
例
会
の
予
定

編
集
後
記

令和4年9月14日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和4年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

令和4年9月14日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項	
1	一括	公明党議員団 上羽 和幸	1 新型コロナウイルス感染症の影響について 3 子どもの豊かな育みを支える環境づくりについて	2 新たな海洋・海事産業について 4 図書館のあり方と基本計画について
2	一括	創政クラブ議員団 肝付 隆治	1 活力あるまちづくりについて 3 市民の参画と協働によるまちづくりについて 5 本市の未来を担う子どもたちの学校教育について	2 地域特性を生かしたまちづくりについて 4 頻発化・激甚化する災害への危機管理対応の強化について
3	一問一答	市民クラブ舞鶴議員団 鴨田 秋津	1 市長の政治信念と政治理念について	2 子育て環境日本一について
4	一問一答	日本共産党議員団 小西 洋一	1 憲法9条が生きる「市民の命(いのち)最優先」のまちづくりについて 3 市民サービスの充実と「市民合意」の公共事業について	2 安倍元首相の「国葬」に反対し、内心の自由を守ることにについて
5	一括	新政クラブ議員団 水嶋 一明	1 総合計画に基づくまちづくりの成果と今後の展望について 3 商工会議所から提出された政策提言について 5 水道施設の整備と安定供給について	2 本市の財政運営について 4 図書館基本計画について

※一 一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページに掲載しています。
 また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

舞鶴市議会





なれ親しんだ東舞鶴図書館

書館利用者の利便性も
 システムの整備で東図
 舞鶴駅東口。③図書館
 ②利便性等から西
 課題解決型図書館にす
 高度な専門情報を備え、
 ③東西両駅前に図書館
 を造るといふ選択肢は
 ないのか。

質問 図書館基本計
 画の答申が市長に提出
 された。①東西図書館
 を一つにして中央図書
 館を新設するとしてい
 るが効果は。②中央図
 書館の候補地はどこか。
 ③東西両駅前に図書館
 を造るといふ選択肢は
 ないのか。

代表質問
Q 中央図書館を
 新設するとしているが
A 高機能の課題解決型
 図書館にしたい




公明党議員団
 上羽 和幸

策を進めたい。
質問 ヤングケアラ
 ーは福祉や支援から見
 過ごされてきた。支援
 の検討を願うが見解は。
答弁 現状把握とア
 ンケートの実施で支援

質問 ヤングケアラ
 ーは福祉や支援から見
 過ごされてきた。支援
 の検討を願うが見解は。
答弁 現状把握とア
 ンケートの実施で支援
 策を進めたい。

確保するため再配置は
 必要ないと考えている。
質問 東舞鶴の市民
 にとって慣れ親しんだ
 図書館がなくなる。説
 明には力を入れるべき
 だ。高機能で課題解決
 型は理想的だが、生か
 しきれぬのか。
答弁 理解を広め、
 市民と一緒に機運を盛
 り上げたい。アンケー
 トの結果からニーズは
 十分あると考えている。

代表質問
Q 本市の産業振興の
 ビジョンを問う
A 京都舞鶴港を生かした
 産業創出が柱



創政クラブ議員団
 肝付 隆治

が、市の見解を問う。
答弁 京都舞鶴港を
 生かした産業創出が最
 も重要な柱となる。さ
 らに物流・人流を活性
 化させ、京都府北部物
 流拠点や製造業の誘致
 に取り組んでいく。ま
 た、水素・燃料アンモ

が、市の見解を問う。
答弁 京都舞鶴港を
 生かした産業創出が最
 も重要な柱となる。さ
 らに物流・人流を活性
 化させ、京都府北部物
 流拠点や製造業の誘致
 に取り組んでいく。ま
 た、水素・燃料アンモ

鶴道路、舞鶴国際ふ頭
 の整備等のインフラ整
 備が進み、赤れんが周
 辺等まちづくり事業を
 中心とした観光関連事
 業や、舞鶴市地域エネ
 ルギービジョンで示さ
 れているエネルギー関
 連事業が推進されてい
 る。舞鶴在住の現役世
 代や将来の本市を担う
 若者の流出超過を減少
 させるためには、今後
 どのような産業振興ビ
 ジョンを目指している
 のかを示す必要がある



Ⅱ期整備が始まった舞鶴国際ふ頭

ニア等の輸入・貯蔵等
 が可能な受け入れ環境
 の整備や、カーボン
 ニュートラルポートの
 形成を図り、京都舞鶴
 港を核とした次世代エ
 ネルギー産業の創出に
 取り組んでいく。加え
 て、造船技術を生かし
 た新たな需要創出に資
 する洋上風力発電関連
 事業など、新たな分野
 への展開を推し進めて
 いく。

あらし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

議会PR

定例会の予定

編集後記

令和4年9月14日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

代表質問

Q 元国際交流員の勇気ある訴えへの対応は

A 市の対応に一切問題ない



市民クラブ舞鶴議員団
鴨田 秋津

質問 ウズベキスタンの元国際交流員が、市職員から威圧的な対応を受けたなどの被害を訴えていたこと。派遣元が「特例で任期延長が可能」とする通知を本人に確認せず、再任用の見送りを判断したことへの対応を問う。

答弁 威圧的な対応をした事実はない。また、再任用は、特例で延長する必要はなく、この通知がある以前に延長は無理だと本人に伝えてあった。ルールに反したことは全くない。

府内でいまだに中学生が償還払い一択なのは舞鶴市だけ。皮肉にも「子育て環境日本一」をうたっている舞鶴市。他の自治体では既に、中学生まで毎月の控除の上限額を定めず、窓口負担ゼロか200円。市長の考え方ひとつです。やる考えはないか。

答弁 2、3人の少数議員が言っても無理。過半数の議員の賛同がないと決まらない。現状は、京都府の医療費のあり方検討会議の結果を聞き、対応したい。

代表質問

Q 現行憲法の平和主義と憲法9条の見解は

A 国防担う皆さまの努力のためものである



日本共産党議員団
小西洋 一

質問 戦後、日本は外国の戦争に参加せず、一人の外国人兵士の命も奪わず、一人の自衛隊員の命も奪われてこなかった。これは「二度と戦争をしない」と誓った憲法前文と憲法9条、これを守ってきた国民の「不断の努力」があったから。現行憲法の平和主義と憲法9条の意義について、改めて市長の見解を問う。

答弁 日本国憲法は、わが国の最高法規。基本的な人権の尊重と統治機構を定めたものである。今日のわが国の発展は国民の思いと行動、自衛隊をはじめ国防を担う皆さまの努力のためものと認識している。

Q 公共事業は「市民合意」で

A 公金の支出上、問題はない

質問 西舞鶴駅東口の駐輪場建設や、FMまいづる中継局工事でも不明瞭な点が明らかになった。市の公共事業について、市民の信頼が揺らいでいないか。

答弁 西舞鶴駅東口駐輪場整備は、必要な手続を怠り、不適切な公金支出となった。コミュニティFM中継局整備事業では、事務執行、工事施工共に適切に完了しており、公金の支出上問題ない。

代表質問

Q 水道施設の整備と安定供給の取り組みは

A 漏水調査等により水道事故防止に努める



新政クラブ議員団
水嶋 一明

質問 近年、人口減少や節水意識の向上などによる水道料金収入の減少、施設の老朽化、技術者の減少など、水道事業を取り巻く環境は大変厳しく、安心して飲める水道水の安定供給に大きな課題となっている。本市の取り組みは。

答弁 本市の有する浄水場14カ所、配水池66カ所、管路650キロメートル等について定期点検を行っているほか、漏水調査を実施している。主な水管橋は、外面塗装や腐食の状態、

Q 塩水遡上に対する対策は

A 取水場の上流移転等関係機関と協議する

質問 本市は、由良川上流の取水場で全取水量の8割を取水している。夏場の潮位が高い時期に、塩水遡上の影響を受け、対策として防潮幕を張られているが、地球温暖化が進み塩水遡上が顕著になった場合、安心して飲める水道水の安定供給への影響と対策を問う。

答弁 今年度から取水場の上流移転など根本的な対策について、河川管理者である国土交通省など関係機関と協議を進めている。

質問 子育て支援医療費助成制度について、

Q 子育て医療助成の拡充は

A 京都府の対応を注視する



ホストタウンを契機としたウズベキスタンとの交流



戦後77年間、国民が支えた日本国憲法

の支出上問題ない。



有路補助取水場に張られている防潮幕

接合部の点検等を行い水道事故の防止に努める。

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

令和4年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

令和4年9月15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一問一答	伊田 悦子	1 平和首長会議加盟にふさわしい行動について	2 経済的負担軽減で子育て世帯を本気で支援する施策について
			3 中舞鶴地域における安心・安全のまちづくりについて	
2	一問一答	川口 孝文	1 市内小中学校の現状等について	
			2 ごみ収集の現状等について	
3	一括	杉島 久敏	1 マイナンバーカードについて	
			2 公共交通の維持について	
4	一問一答	田畑 篤子	1 子育て支援について	
			2 高齢者支援について	
5	一括	西村 正之	1 かんぼの宿舞鶴について	
6	一括	仲井 玲子	1 空き家対策について	2 大雪時の自治会支援について
			3 ネーミングライツ導入について	
7	一問一答	小杉 悦子	1 情報発信力強化事業におけるFMまいづる中継局の増設について	2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策と地域医療の確保について
			3 新型コロナウイルス感染症の影響と物価高騰から市民の暮らしを守り地域経済における支援策と財政運営について	
8	一括	高橋 秀策	1 市内建設業週休2日制の取組について	2 都市公園のトイレについて
			3 複式学級について	
9	一括	松田 弘幸	1 PAZ、PAZに準じる地域のインフラ整備について	2 水産資源のブランド化について
			3 資源・ごみ分別アプリについて	
10	一問一答	今西 克己	1 由良川の流域治水について	
11	一括	田村 優樹	1 消防団の充実強化について	
12	一括	谷川 真司	1 高齢者の絆づくりについて	
			2 ドローンの活用について	
13	一括	上野 修身	1 家庭教育について	
14	一問一答	伊藤 清美	1 全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について	2 弾道ミサイルを想定した国と地方公共団体が共同で実施する住民避難訓練の再開等について
			3 舞鶴市が管理する道路について	4 新たな自治会支援の取組について
15	一問一答	野瀬 貴則	1 耕作放棄地の解消について	
			2 新型コロナウイルス影響下での子育て支援について	
16	一括	鯛 慶一	1 舞鶴市のカーボンニュートラルについて	

※一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会 検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 子どもの医療費助成
遅れている認識は
遅れているとは
考えていない

A



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 子どもの医療費助成が府北部でも最低。今や府内の標準レベル、中学校卒業まで入院も通院も窓口200円負担とすべきと考えるが、遅れているという認識はあるのか。

答弁 府北部自治体が、府の制度にとどまらず、独自に拡充していることは認識している。本市は、経済的な助成部分と併せて、総合的な子育て支援を講じている。遅れているとは考えていない。

Q 市長のやる気
で拡充可能

A 今後の府の動向を
注視する

質問 子どもの医療費助成の他自治体の状況は、子育て世帯の願いに寄り添い、近隣自

治体の状況も考慮する中で、厳しい財政状況であっても、首長の判断で頑張っている。それが今日の本市を除く自治体の状況である。市長の本気度があれば、拡充はできると考えるがいかがか。

答弁 京都府で「子育て支援医療助成制度あり方検討会議」が開催され、制度の拡充に向けた協議が開始された。この協議を踏まえ、今後決定される自己負担額や対象年齢等の拡充内容を注視していく。



子どもの医療費助成の拡充を

Q 物価高騰で
指定ごみ袋の値上げは
直ちに変更はしない
必要に応じ検討する

A



創政クラブ議員団
川口孝文

質問 世界的な原材料価格の高騰、運搬コストの上昇等により、わが国内でもさまざまな生活必需品の価格が高騰している。生活が圧迫される中、「指定ごみ袋も値上がりするのではないか。」との心配の声も聞かれる。多くの品物が値上げされる中、本市の指定ごみ袋への影響はないのか。指定ごみ袋の製造価格が上昇することによって、ごみ処理手数料、いわゆる指定ごみ袋の価格に影響を与えないのか、今後の見込みを問う。

答弁 本市の指定ごみ袋の販売価格は条例上、ごみ処理手数料に位置付けている。ごみ処理手数料の料金水準は本市の

ごみ処理費用、他市での手数料水準等を考慮して設定している。指定ごみ袋の原材料価格の変動をもって、直ちに金額を変更するというものではない。今後の見直しについては、ごみ処理基本計画の見直しのタイミングで、廃棄物施策の状況、市の財政状況等を考慮し、必要に応じ検討すべきと考えている。



指定ごみ袋・直ちの価格変更はない

Q 本市が目指す地域交通
体系の将来像は
気軽に掛けやすい
地域交通体系の検討

A



公明党議員団
杉島久敏

質問 世界的に高度な自動運転レベル4以上の開発が国主導で進んでいる。この先、「コンパクトシティ構想」が進捗すると、バス路線の廃止および大型バス進入が困難な地域の交通弱者に対する足の確保について、特に慎重な対応が必要になる。本市が目指す「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」の実現に向けた地域交通体系の将来像は、「コンパクトシティ構想」と合致して進められていると思われが、市民生活で不可欠なサービスの無償化と併せ、どのように検討されているのかを問う。



一部で運行が始まったレベル4自動運転バス

活用する」を基本理念に掲げている。舞鶴版コンパクトシティの実現とともに東西市街地の駅を拠点に、拠点間を結ぶ鉄道とバスの幹線を基軸とし、支線となるバス、支線にアクセスするmeemo^{*}、地域全体をカバーするタクシーにより、気軽に掛けやすい環境をつくり上げる地域交通体系の検討を考えていく。

* meemo (ミーモ) … スマートフォンアプリを使って「住民同士の送迎」により目的地へ移動できるサービス

一般質問

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



あらし

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

議会PR

定例会の予定

編集後記

一般質問
Q 全ての新生児への難聴検査と公費負担を
A 全受検と公費負担導入に向けて検討する



新政クラブ議員団 田畑 篤子

質問 「新生児聴覚検査」は、産まれて間もない赤ちゃんへの、聴覚障害の早期発見・早期治療を図るために新生児に実施する検査のことを指す。難聴を早期に発見し、対応することで言葉の遅れを防ぐ重要な検査である。本市の子育て支援として、全ての新生児が受検者となり、早期発見により早期治療ができることを願う。それとともに、新生児難聴検査の公費負担を心ある子育て支援事業として、是非お願いしたいと思うが、本市の考えを問う。

答弁 本市では、全ての新生児が受検されていないことが一つの課題である。新生児検査を受けるには五千円程度の費用が必要となり、経済的負担の一部になっていると認識している。全ての新生児が聴覚検査を受けることができ、難聴児の早期発見・早期療養につながるよう公費負担の導入に向けて検討するとともに、新生児難聴検査の重要性について、保護者へ改めて周知啓発をしてまいりたい。



新生児難聴検査

一般質問
Q かんぼの宿跡地の状況と今後の展望は
A 利活用に向け取り組み



市民クラブ舞鶴議員団 西村 正之

質問 かんぼの宿舞鶴の跡地については、近畿百景第1位に選ばれた極めて素晴らしい景観が楽しめる格好の場所である。その跡地は、平成19年以降、今日までの経過を踏まえ、日本郵政(株)に対し所有地のみでなく、跡地の一体的な利活用が図られるよう要請し、日本郵政(株)においても市の意向を踏まえた対応を検討していただいていると伺っている。現在、日本郵政(株)とはどのようなやり取りがなされておおり、どのような状況にあるのか、今後の展望を問う。

答弁 市においては、日本郵政(株)と連携を図りながら、跡地の利活用が前に進むよう努めてきたところである。しかしながら、新たな事業者の進出や活用等についての具体的な案件がないことから、同社から、今後の多様な活用等が可能となるよう、残存構造物の撤去工事を実施するとの報告を受けた。今後の展望は、より多様な利活用が可能となる提案等を求め、引き続き検討を重ねてまいりたい。



かんぼの宿舞鶴の跡地

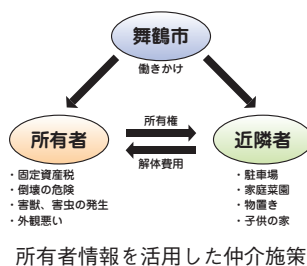
一般質問
Q 空き家所有者情報を活用した対策は
A 他市の取り組みも参考にし対策に努める



会派に所属しない議員 仲井 玲子

質問 増加する空き家について、自治体が所有者を特定するための法整備がされたが、解体費用が数百万円かかることで放置されている空き家もある。自治体が所有者情報を活用し、所有者と隣接住民との空き家売買の仲介役となり、空き家解体費と登記費程度で売買が成立するよう、両者に働きかける他市での取り組みを本市でも検討されてはどうか、市の見解を問う。

答弁 多岐にわたり、解決は容易ではないが、他市のさまざまな取り組みも参考にし、空き家対策に努める。



Q 大雪時の自治会支援は
A 共助により対応していく

答弁 空き家の解体には多額の費用がかかる、長年放置される要因の一つとなっていることから、除却費の一部を助成する制度を平成28年度に設け、現在までに18件の除却につながっている。課題は

質問 自治会支援アンケート調査で、大雪時の除雪費用の補助に係る要望はなかったか。
答弁 要望がなかったことから、今後も地域の皆さまとの共助により対応をしていく。

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 無線回線が不安定な加佐中継局の責任は総務省基準に適合設計会社に責任はない



質問 増設された加佐中継局で基準を満たす無線の送受信ができなかったことについて、住民監査請求の提出や公開質問状が出される異例のことが起きている。「受信できない可能性」を関係者が指摘し、「設計会社が問題ないとの回答をしており、それを信じて出さずしかない。もちろん問題があれば設計会社の責任になります」とのメールのやり取りもあるのに、基本設計・詳細設計を契約した「株式会社建設技術研究所」に対し、本市は責任を問わない対応とした。その説明を求める。



FMラジオ加佐中継局アンテナ

答弁 府設計協議の段階でシミュレーションソフトや地図の種類によって、異なる数値になる可能性などさまざまな意見があった。メールは、早期に放送免許の申請などの必要があり、発注者として施工管理業務を委託している有本積善社においている有本積善社において、電波法に定める技術基準に適合していることが確認されており、責任を問うものではない。

Q 市内建設業の週休2日制の取り組みは導入推進に向け、努める



質問 建設業の皆さんは、道路除雪や災害復旧、地域経済の活性化になくはならない存在である。週休2日制の導入により、若手入職者が増えることが期待される。国・府では一定試行されているが、本市の取り組みは、



週休2日制で工事を

答弁 建設業の労働環境の改善に向けた意識向上と、建設現場における週休2日制の働き方改革の推進は、喫緊の課題であり、将来の「地域の守り手」「まちづくりの担い手」を確保するため、導入推進する。

質問 適正な規模の学校で切磋琢磨して生きる力を培ってほしいと思う。それが人間を大きくする。教育委員会として、専門的な観点から複式学級をどのように考えているのか。

答弁 教育環境の在り方懇話会を設置して、最も好ましい教育環境の構築に向け検討している。複式学級が編成される小規模校では、解消に向けた取り組みを行うことが、より良い教育環境づくりにつながるものと考えている。

Q 侵略を想定したインフラ対策が必要では市民の安全・安心の確保に努める



質問 ロシアの侵略により、ウクライナにある原子力発電所が攻撃を受けたことから、本市においても、他国からの侵略を想定した対策が必要である。このような事象が発生した場合、住民が安全かつスムーズに避難ができるインフラ対策が必要と考えるがいかがか。

答弁 PAZを有する自治体として、より一層、経済産業省や国土交通省、内閣府などの関係省庁、京都府、関係機関等に粘り強く



非常時にシェルターとなるトンネルが必要ではないか

質問 常日頃から利用している道路において、非常時にシェルターとなるトンネルが必要ではないか。西大浦には、火力発電所建設時に掘られたトンネルがあると、東大浦にもトンネルが必要ではないか。

答弁 避難場所として非常に有効だが、トンネルを掘るには、事業費等もあり、測量費だけでも相当な金額を要するため、ハードルが高いと認識している。

質問 トンネルの有効性を問うハードルが高い

答弁 有効だが、ハードルが高い

一般質問

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



内水の発生状況

も被害が大きかった志高地区において、内水

1日から洪水が予測される場合に、従来の最低水位よりも5センチ低くする運用が開始され、治水安全度が向上した。



不足する消防団員

あじしから始めておぼせませんか？

サロndeすとれっち

運動指導員を派遣します！！

「サロndeすとれっち」は、高齢者の健康増進と地域交流を目的とした活動です。毎月1回、月2回の活動を実施し、地域交流を促進します。

活動内容：ウォーキング、ストレッチ、簡単な運動など。

活動日時：毎月1回、月2回の活動を実施し、地域交流を促進します。

活動場所：市内各公民館。

お問い合わせ：市民クラブ舞鶴支部 電話：66-1018

「サロndeすとれっち」指導員を派遣

う「集いの場」を増やし、地域の絆がより深まる取り組みを継続してまいりたいと考えている。

Q 輪中堤の排水施設の整備を問う

A 有効な手法を含め検討を進めていく



新政クラブ議員団 今西 克己

質問 舞鶴市域における輪中堤は令和2年5月に概成し、現在、付帯工事が進められている。しかし、輪中堤の完成後2度にわたる大規模洪水に見舞われた際、発生した内水により住家が床下・床上浸水の甚大な被害を被った。内水被害が顕著な志高、大川、八田水間、中山地区の輪中堤には、排水機場の設置は必要不可欠であるが、本市の考えを問う。

発生時のシミュレーションを行い、対策の基礎となるデータ整理を行った。国や京都府から技術支援を受けながら、有効な手法の組み合わせを含め検討していく。

Q 大野ダムの事前放流を問う

A 治水安全度が向上した

質問 大野ダムでは、過去の大規模洪水の検証から由良川流域下流部の氾濫リスクを軽減するため、堤体を含む施設改修等を行った。事前放流の運用を問う。

数人は69人で一定効果が認められるが、未だ市職員が所属していない団では、ぎりぎりの人数で運営している。市では、市職員が所属していない団の状況について、どのような

見解にあるのかを問う。

答弁 市職員の協力は、消防団からの熱意ある入団勧誘もあり、市役所は、市内でも多い69人の消防団員が在籍する事業所となっている。今後は、本市全域を管轄する一団制への移行を踏まえ、居住地にこだわることなくオール舞鶴で、市民の安全安心の確保に向け、消防団入団促進に引き続き取り組む。

Q 市職員が所属しない消防団の見解を問う

A オール舞鶴で消防団入団促進に取り組む



市民クラブ舞鶴議員団 田村 優樹

Q 高齢者の「集い」を復活させる支援策は

A 地域の絆が深まる集いの場を増やす



創政クラブ議員団 谷川 眞司

質問 本市においては、多世代交流施設「まなびあむ」や各公民館等、高齢者が集える場の整備を積極的に行っているが、住んでいる地域の中にもそういった場所があれば、より集いやすくなる。高齢者のコミュニティが復活していくのではないかと考える。住んでいる地域内において、高齢者の絆を復活させる手立てはないものか。また、そういった絆を復活させるための場づくり

くりに対する支援策はあるのか、市の見解を問う。

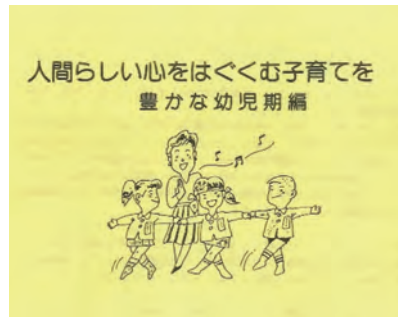
答弁 1時間程度の軽い運動をする「サロndeすとれっち」をはじめ、老人クラブや地域サロン活動についてもその立ち上げ支援や活動継続に対する助成も実施しているところであり、気軽に相談いただきたい。

今後も、高齢者の皆さんが孤立せずに、住み慣れた地域で自分らしく過ごしていけるよう「集いの場」を増やし、地域の絆がより深まる取り組みを継続してまいりたいと考えている。

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

「子育て環境日
本一のまちづく
り」を目指す本
市として、「家
庭教育」にどの
ように取り組ま
れるのか。



幼児期を豊かに

Q 本市における家庭
教育への関わり方は
安心・安定できる
学びの場を提供する



新政クラブ議員団
上野修身

質問 家庭は教育の
原点であり、基本的な
生活習慣や豊かな情操、
思いやりや善悪の判断
などは、両親やきょう
だい、祖父母など家族
のふれあいから生まれ、
取り巻く地域社会が一
緒に育ちを支えてきた。
しかし近年、少子化、
核家族化とともに地域
コミュニティの希薄化
など社会が大きく変化
し、虐待、過保護、放
任など、自立心を養う
家庭の教育力の低下と、
子どもたちの自
尊心の低さが課
題となっている。
「子育て環境日
本一のまちづく
り」を目指す本
市として、「家
庭教育」にどの
ように取り組ま
れるのか。

答弁 子育て交流施
設「あそびあむ」では、
子どもたちと親にあそ
びを通して主体性や創
造性、社会性などを育
む取り組みを実施して
いる。また、乳幼児教
育センターでは「乳幼
児教育ビジョン」を策
定し、自己を肯定する
こころの育成を進め、
家庭では、親子で触れ
合う機会を持つことな
ど、安心・安定できる
居場所となるよう、学
びの場を提供している。

Q 弾道ミサイルを想定
した住民避難訓練は
市民の安全安心を
確保する対策を検討



創政クラブ議員団
伊藤清美



弾道ミサイルから
身を守る避難行動

質問 北朝鮮から弾
道ミサイル等が高い頻
度で発射され、本年3
月にはわが国の排他的
経済水域内に落下した。
政府は「日本の安全
保障に関わる重大な問
題だ」として強く抗議
するとともに、4月に
「弾道ミサイルを想定
した国と地方公共団体
が共同で実施する住民
避難訓練の再開等につ
いて」通知文書を出し
た。住民避難訓練の
実施について市の見解
を問う。

答弁 厳しさを増す
安全保障環境を踏まえ、
市民の安全安心の確保
を問う。
質問 本市は「IT
を活用した心が通う便
利で心豊かな田舎暮らし」の施策を展開する
中、コロナ後を見据え、
公共施設と地域をネッ
トワークで結ぶ環境づ
くりについて市の見解
を問う。
答弁 インターネッ
ト環境整備は、地域活
動の活性化につながる。
今後も令和時代のニー
ズを取り込み、新たな
地域づくりとして学び
と集いの場を拡大でき
るよう取り組んでいく。

Q 子育て世帯へ抗原検査
キットの支援を
より効果的な子育て
支援に努める



新政クラブ議員団
野瀬貴則



家族の人数が多いほど
負担が大きい

質問 子育て世帯が
新型コロナウイルスに
罹患すると、濃厚接触
者となった家族が学校
や職場に早期復帰す
るには自費で一人2回の
抗原検査が必要となり、
家計を圧迫している。
子育て世帯に抗原検査
キットの支援が望まれ
ているが、市の考えは。
答弁 現段階では、
抗原検査キットの購入
の費用負担は考えてな
い。子育て世帯に対し
ては、より効果的な子
育て支援に努め、安心
して生活していただ

質問 耕作放棄地に
対する施策が国や府
で実施されているが、
年々増加し続けている。
さまざまな悪影響が地
域に出ており、農業振
興だけでなく、地域
での維持管理活動に対
しても支援が必要と考
えるが、市の考えは。
答弁 令和2年度の
調査で約600軒の遊
休農地があり、市民農
園とすることや農地か
ら里山へ変更など考え
ている。地域全体の課
題として、自治会をは
じめ地域の皆さまとよ
り良い方策を検討する。

るよう取り組みを進め
ていく。
Q 耕作放棄地の
解消策は
地域と一緒に
方策を検討

令和4年9月15日、16日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問 FMまいづるに出演紹介・議会傍聴



商用車も利用できる充填所の早期整備を

が、一般車両や運輸車両への充填。移動式水素ステーションの整備促進に向けて取り組む。また、営業車や長距離走行車両は、EVのような長時間充電では経済的損失が生じるため、将来的にFCV化に向けた水素ステーションの整備が必要と考える。

質問 「舞鶴市地域エネルギービジョン」のアクションプラン「再生可能エネルギーインフラ整備で公共施設への充電スタンド」の積極的な設置や、「水素ステーションの整備構築に向けた検討の実施」で、特に市内一カ所以上の水素ステーションの整備を掲げられている。また固定式水素ステーションは、一般車両や運輸車両への充填。移動式水素ステーションは産業、素ステーションは産業、工業の現地での充填が可能で、ほぼ毎日水素燃料を必要とし、需要が見込まれると考える。現在の進捗状況や取り組み、整備に対する姿勢を問う。

答弁 整備の取り組みは、水素関連企業との意見交換を京都府と共に実施しており、今後、需要動向の把握に努めながら、京都府や企業と連携し、水素ステーションの整備促進に向けて取り組む。

一般質問

Q 脱炭素社会に向けた水素燃料供給体制は将来的には整備が必要であると考えます

A 将来的には整備が必要であると考えます

新政クラブ議員団 鯛 慶一

FMまいづるに出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなこととお話しています。



過去の放送内容もお聴きいただけます。

今後の放送予定

令和4年9月～12月の間は、放送をお休みしています。放送再開は、令和5年1月からの予定です。

※放送日時や放送内容等については、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。



これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」「本会議や委員会の傍聴について」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取り組み」
- 「市民と議会のわがまちトーク」
- 「防災訓練」「第20期の総括」

今回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会等はどこからでも傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記者申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録をよろしくお願いします。



舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube舞鶴市議会
Facebook舞鶴市議会
ホームページ

12月定例会予定

12月

- | | |
|--------|----------------------------|
| 5日(月) | 本会議
(開会・正副議長選挙等・提案説明) |
| 12日(月) | 請願受理締切 |
| 14日(水) | 本会議(一般質問) |
| 15日(木) | 本会議(一般質問) |
| 16日(金) | 本会議(一般質問、議案質疑) |
| 19日(月) | 予算決算委員会分科会・常任委員会 |
| 20日(火) | 予算決算委員会分科会・常任委員会 |
| 23日(金) | 予算決算委員会 |
| 27日(火) | 本会議
(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会) |



※予定は変更することがあります。

スマートフォンやタブレット用の無料アプリ「マチイロ」で市議会だよりを配信しています

まいづる市議会だよりは、舞鶴市議会のホームページやスマートフォン・タブレット用の無料アプリ「マチイロ」からでもご覧いただけます。簡単操作でいつでもどこでも読むことができますので、ぜひご利用ください。

【利用方法】 スマートフォンへの「マチイロ」アプリのダウンロードは、iPhone・iPadをお使いの方は、AppStoreから、Androidをお使いの方はGoogle playから行ってください。

注意事項

※「マチイロ」は株式会社ホープが作成したアプリです。アプリ導入による情報機器の不具合などについて、舞鶴市議会は、一切責任を負いません。また、アプリ閲覧中に掲載される広告については、舞鶴市議会とは一切関係ありません。

※アプリのダウンロードや利用ともに無料ですが、情報の受信による通信料は利用者負担となります。

議会の防災訓練を実施

防災の日である9月1日に、議会の防災訓練を実施しました。

舞鶴市議会では、有事に備え、不定期に防災訓練を実施していますが、今回は、第1部として、本会議の開催中に火災が発生した想定での庁舎外への避難、第2部として、大雨により市内各所で被害が発生した想定での情報伝達訓練等を行いました。

【第1部】

市役所の庁舎3階で火災が発生した想定で、議場からの避難の手順を確認しました。

議場がある4階からは、救助袋（シューター）を利用して避難する訓練を予定していましたが、当日は、雨が降っていたため、あらかじめ録画した動画で、救助袋の展開方法や避難の流れを確認しました。

その後、庁舎4階の消火器・消火栓の位置や使用方法等を確認しました。



傍聴者を優先して避難を誘導

【第2部】

被害状況の写真を撮り、その撮影場所が分かるように地図データを取得し、災害情報用に設置したWeb上の掲示板に必要な情報とともに掲載する訓練を行いました。

その後、オンラインによる議会の災害対策支援本部会議を開催し、今回の訓練について意見交換を行いました。

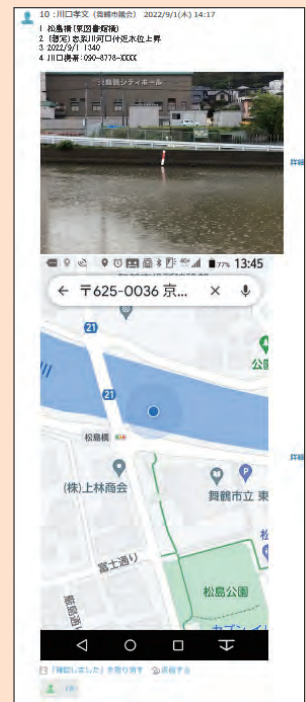
今後も訓練を繰り返し、いざという時に機能する議会であるよう取り組んでまいります。



消火栓の説明



議会本部会議（オンライン）



掲示板に掲載された情報



【議会報編集委員会】

- 部 会 長 眞下 隆史
- 副 部 会 長 杉島 久敏
- 委 員 伊田 悦子
- 委 員 川口 孝文
- 委 員 田村 優樹
- 委 員 野瀬 貴則

皆さまからのご感想を参考にさせていただきますと、編集委員会においてさらに検討を重ね、今後の編集に役立てさせていただきますことをお約束いたします。
（副部長 杉島久敏）

そうした中、議会報編集委員会としては、市民の皆さまに舞鶴市議会の活動を少しでもご理解いただき、興味を持って市政をしっかりと見届けてもらえよう、より分かりやすい紙面構成に努めてまいりました。

「まいづる市議会 だより」を愛読いただき誠にありがとうございます。いまだ予断は許せませんが、新型コロナウイルス感染症の第7波もようやく落ち着きを見せてきた感があります。舞鶴市議会においても感染者が発生するなど、大変な1年でした。

本市では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、多くの支援策や給付事業が進み、60歳以上の高齢者および基礎疾患のある方に対し、4回目のワクチン接種も順調に実施されているところ です。

編集後記